



平成 26 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学  
代表者名 代表取締役会長兼社長 永田 良一  
(コード番号：2395 東証第一部)  
問合せ先 代表取締役副社長 関 利彦  
(TEL：03-5565-6216)

### アストリム株式会社との協力関係構築に関するお知らせ

株式会社新日本科学（本社：東京都中央区、社長：永田良一、以下「新日本科学」）は、アストリム株式会社（本社：京都府京都市、社長：桂義元、以下「アストリム」）との間で、本日、協力に関する覚書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

平成 26 年 1 月 31 日付「アストリム株式会社への出資に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、アストリムは、T 細胞<sup>1)</sup>培養技術と iPS 細胞<sup>2)</sup>技術を組み合わせることにより新たな免疫細胞療法<sup>3)</sup>の開発を目指しております。

新日本科学は、基幹事業とする非臨床試験<sup>4)</sup>や臨床試験の受託および開発支援において蓄積してきたノウハウを再生医療分野への支援に積極的に活用する方針を策定しており、これまでにアストリムへ出資してまいりました（出資比率：13.6%）。そしてこのたび、アストリムが推進する免疫細胞療法の研究が進捗しつつあることを受け、免疫細胞療法に関する非臨床試験（安全性評価）の委託先選定に際し、最終的には委託先の能力や費用等に基づき決められますが、新日本科学を委託候補先として最初に打診して頂くことで、早期の臨床応用・実用化に向けて支援する協力関係を構築いたしました。なお、本件が当社グループの今期業績に及ぼす影響は現段階では軽微であります。

以 上

#### 【ご参考】 アストリム社の概要

(1) 商 号	アストリム株式会社
(2) 所 在 地	京都府京都市
(3) 代 表 者	代表取締役社長 桂 義元
(4) 設立年月日	平成 25 年 10 月 31 日
(5) 株式の種類	非上場

#### 【用語説明】

<sup>1)</sup>T 細胞

リンパ球の一種で、他の免疫細胞の分化成熟や抗体の生産を誘導したり（ヘルパーT 細胞）、あるいは



ウイルス感染細胞やがん細胞を直接破壊したり（キラーT細胞）、といった様々な場面で機能します。

## 2 iPS 細胞

人工多能性幹細胞（induced pluripotent stem cell : iPS 細胞）は、ヒトの体細胞に少数の遺伝子を組入れて培養することによりつくられた細胞で、様々なヒトの器官や組織に分化する能力を有しており、ほぼ無限に増殖する能力を持ちます。iPS 細胞は、病気の原因解明の研究、新薬の研究開発、移植治療などの再生医療に活用できると考えられています。

## 3 免疫細胞療法

T 細胞などの免疫細胞を生体外で人工的に増加させてそれを患者に投与することにより、免疫機能を強化し、がん、感染症、自己免疫疾患などの免疫関連疾患を治療する方法を指します。アストリムの免疫細胞療法に関する技術は、アストリムの科学諮問委員を務める河本宏教授（京都大学再生医科学研究所）と金子新准教授（京都大学 iPS 細胞研究所）が開発した基盤技術に基づいており、さらに臨床応用への発展が期待されています。

## 4 非臨床試験

非臨床試験は、ヒトによる臨床試験の前段階として、ヒトでの安全性を担保する目的で、細胞や実験動物を用いて、新規医薬品や新しい治療法などの効果や副作用を調べる試験を指します。